

環境

当社グループは、グローバルな事業活動において、地球環境を守ることは企業の責務と考え、気候変動対応、循環型社会実現などに向けた取り組みを推進するとともに、環境情報に関する開示の拡充に取り組んでいます。

■環境方針

当社グループは、2009年に「環境方針」を制定して以来、環境負荷の低減に向けた取り組みを推進してまいりました。近年、地球規模で環境課題が深刻化する中、企業に対しても一層の対応強化が求められています。このような状況を踏まえ、環境に対する基本的な考え方とその適用範囲をより明確にし、グループのミッションを反映した「環境方針」へと2025年4月に改定いたしました。

ワコールグループ環境方針
https://www.wacoalholdings.jp/sustainability/files/environmental_policy.pdf

■気候変動への取り組み(TCFD提言に沿った情報開示)

脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進め、サプライチェーンにおける温室効果ガスの排出量削減をより確実なものにするため、2021年よりワコール事業(国内)のサプライチェーン全体における温室効果ガス排出量(Scope3)の算定を開始しました。また、TCFDの枠組みに沿って2023年3月期に気候変動に対するシナリオ分析を実施し公表しましたが、2025年3月期において、改めてリスクと機会の洗い出しを行うとともに、サプライチェーン上流まで範囲を拡大したシナリオ分析を実施しました。今般のシナリオ分析ではグループ全体に対する連結売上収益の比率が最も高い事業セグメントである、ワコール事業(国内)を対象に2℃および4℃の気温上昇時の世界を想定しリスク・機会の抽出と対応策を検討しました。シナリオ分析の結果、2℃上昇時は環境意識の高い消費者からの支持の獲得などポジティブな影響がある一方で、炭素税の導入や原材料コストの上昇などの移行リスクが事業にネガティブな影響を及ぼす可能性があることがわかりました。また、4℃上昇時は暴風雨、洪水をはじめとする異常気象の激甚化などの物理的リスクが事業にネガティブな影響を及ぼす可能性があることがわかりました。今後も順次シナリオ分析の範囲を拡大し、グループ全体として詳細なリスク分析が行えるよう取り組みを進める予定でいます。詳しくは当社ホームページ、有価証券報告書に掲載しています。

ワコールグループ TCFD提言に沿った情報開示
<https://www.wacoalholdings.jp/sustainability/files/wacoalholdingsTCFD.jp.pdf>

■指標と目標

当社グループは、気候変動問題の解決と脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めるため、2030年に向けた独自の環境活動目標「環境目標 2030」を掲げています。

環境目標 2030: <https://www.wacoalholdings.jp/sustainability/environment/target>
 自社排出量の実績は当社ESGデータブック、有価証券報告書に掲載しています。
 自社排出量の実績: https://www.wacoalholdings.jp/ir/files/ESG_DATABOOK.pdf

■資源循環型社会の実現に向けた取り組み

(株)ワコールでは、サプライチェーン上の資源・資材の持続可能な利用および省資源対策、廃棄物の削減・リサイクルを推進するため、環境配慮型資材の調達方針や品質基準を審議するとともに、生産や調達活動における廃棄物削減の進捗状況のモニタリングを行っています。また、生産部門の従業員を中心に『SDGsプロジェクト』を展開し、残材料の寄付や利活用に関する広報活動を通じて、環境配慮施策に対する社外認知の向上を図るとともに、残材料の活用による新規事業・ビジネス創出を目的として活動しています。特に、残レースなどの廃棄素材を活用した地域や他企業との共創を推進しています。

消費者と地球にやさしい事業活動の推進:
<https://www.wacoalholdings.jp/sustainability/environment/efforts/>

TOPICS

アップサイクル活動(国内)

2024年には、京都の企業「香老舗 松栄堂」と協働し、両社のものづくりの精神に触れながら、世界に一つだけの匂い袋を制作するワークショップを開催しました。さらに、Z世代とともに新たな古着循環の仕組みを推進するリユースイベント「循環フェス」においても、ワークショップの開催やアップサイクル商品の販売を通じ、地域と連携した循環型社会の実現に取り組んでいます。こうした活動を通じ、取引先からのワークショップ開催依頼が増加しており、残材料活用を介した新たな顧客接点の創出にもつながっています。



アップサイクル活動(海外)

アップサイクル活動は日本のみならず、海外グループ企業にも波及しています。中国の大連ワコールでは、残材料を利用したウォールアートや従業員制作の手芸作品展示などを通じて、社内外のステークホルダーに対し、生産工程で発生する残材料の課題および活用可能性に関する意識啓発の機会を提供しています。

